

7. その他の事業

1. 広報活動の状況
2. 障害者雇用への協力
3. 特別支援教育への協力
4. 世田谷区介護予防事業
5. 保健センターとの連携

1. 広報活動の状況

総合福祉センターの事業内容をひろく区民に周知するため各種の広報活動に努めるとともに、事業の成果を刊行物としてまとめ区および関係機関に配布している。

1 パンフレット類

- (1) 総合福祉センター概要
- (2) 紀要（平成25年度版）
- (3) 児童担当「相談と療育のご案内」
- (4) 児童担当「子育てサポートブック」
- (5) 成人担当の相談と訓練のご案内
- (6) 「成人きこえの相談のしおり（聞こえにくくてお困りの方へ）」
- (7) 「成人の言語相談のしおり」
- (8) 「成人視覚相談のしおり（見えにくい、見えないことでお困りの方へ）」
- (9) 「介護保険事業のご案内」
- (10) 「高次脳機能障害」（区作成のもの）
- (11) 「失語症の理解とケア」
- (12) 「自立訓練（機能訓練：すずらん、生活訓練：なのはな）のご案内」
- (13) 「シーティング」
- (14) 「住宅改造相談のご案内」

2 PR

- (1) 区のおしらせ「せたがや」
催しのあるたびに案内を掲載した。
- (2) ホームページ（平成14年8月1日開設 平成23年3月リニューアル）
事業の概要、イベント、区民や支援者向けの研修・講演会等の予定を掲載している。

3 刊行物

「平成25年版事業概要（平成25年8月）」
総合福祉センターにおける事業の成果をまとめ関係機関に配布した。

2. 障害者雇用への協力

障害者の自立及び社会参加を促進するため、施設の受付案内業務、日常清掃業務及び休憩コーナーの喫茶業務について、働く場となるよう協力している。

3. 特別支援教育への協力

1 就学相談説明会について

年長児の保護者を対象に就学相談説明会を実施した。

実施日：平成 25 年 5 月 22 日（水） 10：00～11：30

場所：総合福祉センター 3 階研修室

参加人数：65 名

2 就学支援シートについて

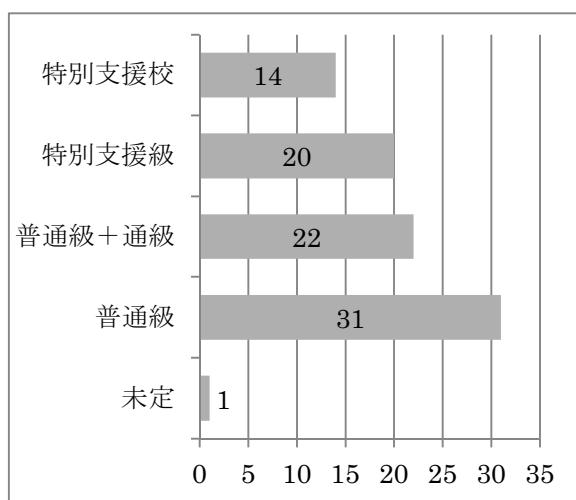
(1) 経過

教育委員会では特別支援教育の取り組みの一つとして、平成 18 年度より小学校へ就学する児童に対し、「就学支援シート」の活用を開始した。就学先に、子どもの様子や支援の内容を引き継ぐとともに、就学後に必要と思われる配慮や支援等について、保護者、就学前機関、就学先が共に考えていくことを目的としている。センターでは、教育委員会からの依頼を受け、就学支援シートの作成を行っている。

(2) 就学支援シート作成数

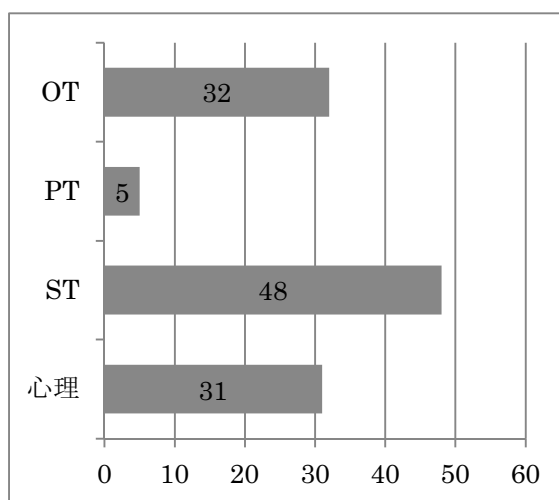
平成 25 年度 3 月末時点（改善、転出等終了児童を除く）で利用中の年長児童 119 名のうち 88 名について作成した。

(3) 就学先別就学支援シート利用者数



※就学先は保護者からの申し出による。

(4) 専門職別就学支援シート作成数



※複数の職種からシートを受け取る場合があるため、実人数とは異なる。

4. 世田谷区介護予防事業（運動器の機能向上プログラム）

～元気生活のための筋力アップ教室～

1. 概要

あんしんすこやかセンターによる介護予防ケアマネジメントにて、運動器の機能が低下している、又はそのおそれのあるとされた対象者に対し、理学療法士、運動指導員、看護職員等が運動器の機能向上に係る個別の計画を作成する。個別の計画に基づき有酸素運動、ストレッチ、筋力トレーニング運動等を集団で実施し、運動器の機能を向上させるための支援を行なう。

(1) 運動の目標

足・腹部・腰の筋力を強化し、バランス能力、歩行能力をたかめる。
日常生活に運動を習慣化する。

(2) トレーニングの実際

- ・1クール12回（約3ヶ月）、週1回90分
- ・事前と事後に体力測定実施
- ・その日の体調チェック
- ・運動は体力・能力に応じ、運動に慣らすことから始め、段階的に負荷を高めていく
- ・自宅でも行なうことを前提に実施

(3) プログラム

回	内 容（9：30～11：00）		
1		事前評価（運動機能測定） オリエンテーション	
2		講義：口腔機能向上（言語聴覚士） 基本体操、基本運動	
3		講義：低栄養予防（管理栄養士） 基本体操、基本運動	
4		講義：筋力アップの方法（理学療法士） 基本体操、基本運動	
5			
6	問診・体調 チェック	柔軟性アップ 基本体操、基本運動	クールダウン 血圧測定
7		身体ほぐし体操 (軽い足、腹部、腰の筋力アップ)	
8			
9		歩行能力アップ 基本体操、基本運動	
10		軽リズム体操 (バランス・歩行能力を高める運動)	
11		ウォーキングex	
12		事後評価（運動機能測定）	

2. 実施状況（平成25年度は2クール実施）

(1) 参加者男女別年齢別人数【表8-4-1】

（単位：人）

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	計
男	0	0	1	2	3	6
女	3	1	6	3	2	15

(2) 実施結果【表8-4-2】

（単位：人）

(3) あんしんすこやかセンター別利用申込み

【表8-4-3】

参加者数		21(中断3)
生活機能 (基本チェックリスト)	維持	2
	改善	12
運動機能	維持	3
	改善	15
主観的健康感	維持	10
	改善	7
目標達成(60%以上)		13
総合判定	維持	5
	改善	13
	悪化	0

	人数
梅丘	1
松原	8
松沢	11
経堂	1
合計	21

5. 保健センターとの連携

総合福祉センターおよび保健センターの専門職員を相互に活用し、両事業所の利用者サービス向上に連携を図った。

1. 総合福祉センターより保健センター事業へ専門職員を派遣

【表 8 - 5 - 1】

保健センター事業名	主 な 内 容
運動機能向上プログラム	言語聴覚士：介護予防の視点から口腔ケアの関心を高める
70歳からのからだにやさしい教室	言語聴覚士：口腔機能を高めるための講話及び実技指導

2. 保健センターの専門職員による指導や測定

【表 8 - 5 - 2】

総合福祉センター事業名	主 な 内 容
①グループ訓練「なのはな」 (知的障害者)	運動指導員：運動指導、マシントレーニング、体成分測定 栄養士：栄養指導、食事バランスチェック、食事指導 医事係：作業発注、納品チェック
②グループ訓練「すずらん」 (身体障害者)	栄養士：栄養指導、食事バランスチェック、食事指導
③グループ訓練「幸次苑」 (高次脳機能障害者)	栄養士：栄養指導、食事指導 運動指導員：体成分測定
④介護リハビリテーション事業	運動指導員：運動指導
⑤聴覚障害者体操サークル	運動指導員：運動指導
⑥視覚障害者の体操	運動指導員：運動指導
⑦障害者のためのゆったり体操	運動指導員：運動指導

3. 専門職員の相互派遣のほか、保健センターとの事業協力

【表 8 - 5 - 3】

事 業 名	主 な 内 容
①総合福祉センター『さくらまつり』	栄養士：栄養指導、食事バランスチェック 運動指導員：体成分測定
②保健センターまつり	障害者施設(白梅作業所・福祉喫茶ぶらたなす等)の出店調整

